

産学官連携で商品開発した「室内用木製歩行器」の販売について

「札幌スタイル・デザイン開発プロジェクト」で開発した商品「室内用歩行器」“poco a poco (ポコ・ア・ポコ)”が、10月13日(水)から販売開始となります。

この歩行器は、平成13年に開発をスタートさせたもので、モニタリング調査や強度実験などを経て、このほど完成いたしました。

デザイン力を活用した、この開発がきっかけとなり、従来の家具製造業が福祉関連産業に参入できるようになるなど、産業振興の新しい可能性が生まれることを期待しています。

1 プロジェクトの概要

このプロジェクトは、平成12年に産学官により設立した「福祉用具のデザイン開発・研究プロジェクト」を、今年4月1日に質的転換したもので、本市が今年度から展開している「札幌ブランド構築・推進事業」の一環として、札幌スタイルとしてふさわしい製品のデザイン開発・商品化に向けた研究を行うことを目的に活動しています。

【プロジェクトのメンバー構成】

会長：大萱 昭芳（おおがや・あきよし）

産：日本福祉用具供給協会北海道支部（毛利智之・藤本欣也）

（株）カンディハウス札幌（石永 勉）

学：北海学園大学大学院（黒田重雄）

札幌市立高等専門学校（大萱昭芳・三木弘和・大島康彰・森田敏昭・細田彰一）

官：経済局・保健福祉局（身体障害者福祉センター）

2 室内用木製歩行器について

この歩行器は、加齢に伴って生じる不自由さを補いつつ、『快適でおしゃれに暮らしたい』という高齢者の声に応えた商品です。丸みを帯び、流れるような曲線を描いたこの歩行器は、木のぬくもりがある身近な「家具」として、快適な自立生活の手助けをします。

【販売日・場所】

10月13日(水)から「札幌スタイル・デザインギャラリー」(中央区南1西3丸井今井南館5階)で展示・販売するほか、同日から15日まで東京ビッグサイトで開催される「第31回国際福祉機器展」(14カ国1地域、645社・団体が出展)に出展し、ユニバーサルデザインの視点から作られた「札幌発」の商品としてPR活動を行います。

【販売価格】

88,000円。(税別) = 介護保険の適用予定

3 商品名「poco a poco (ポコ・ア・ポコ)」・シンボルマークについて

ポコ・ア・ポコのネーミングは、音楽用語として用いられる、ポコ・ア・ポコ(poco a poco【伊】: 少しずつ)の軽快でリズムカルな発音がもととなっています。心地よい繰り返しの響きから感じられる親しみやすさは、木を主素材としたインテリア性の高い歩行器「ポコ・ア・ポコ」に、よりホッとさせるぬくもりを与えます。



また、シンボルマークは頭文字の“ P ”と脚輪部の形状を構成素材とし、3つのキーワード、「一人ひとり(person:パーソン)」、「生活の歩調(pace:ペース)」、「方向性(path:パス)」を、同心円を用いて象徴的に表しています。

- 4 「札幌スタイル・デザイン開発プロジェクト」の今までの活動実績
- ・ 2000.10 「福祉用具のデザイン開発・研究プロジェクト」立ち上げ
 - ・ // 札幌発信のユニバーサルデザインの「保護帽子」の開発に着手
 - ・ 2001.10 国際福祉機器展に参考出展
第2弾として「シルバーカート」の開発開始
 - ・ 2002.8 プロジェクト開発第1号として「アボネット(頭部保護帽)」販売開始
 - ・ 2003.9 日本グッドデザイン賞(経済産業省主催)受賞
 - ・ 2003.10 第30回国際福祉機器展に「室内用歩行器」を参考出展
モニタリング調査実施
 - ・ 2004.4 「札幌スタイル・デザイン開発プロジェクト」に名称変更し、質的転換
 - ・ 2004.7 強度実験実施
 - ・ 2004.8 モニタリング調査実施
 - ・ 2004.10 第31回国際福祉機器展に室内用歩行器を出展
室内用歩行器「poco a poco(ポコ・ア・ポコ)」の販売開始

(下線部は室内用木製歩行器に関する事柄)

問い合わせ先 経済局産業企画課 高橋・向瀬 : 211-2379
--